

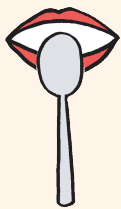
～今日から見直せるポイントを紹介～

今月は、先月に引き続き「機能的な問題」の第2弾になります。保育園などでは重要な食事を子どもに与える際のポイントや注意点。ある程度年齢が大きくても影響が大きい「食べる姿勢」について見直してみましょう。

Step 3 大人の食事の与え方を確認しよう

大人による子どもの発達に合わない食事の与え方が、機能的な問題で食べられないことにも繋がる場合があります。

良くない具体例



- 子どもの口の幅より
大きいスプーンを使ってしまう
- まだ口に食べ物が入っているのに次々と入れてしまう
- スプーンを上引き抜くように与えてしまう
- 食べ物を口の奥の方に入れてしまう
- 泣いている時に口に入れてしまう
- まだ上手に使いえないのに箸を早く持たせてしまう
- 1回に与える量が多すぎる…等

Step 4 食べる時の姿勢を確認しよう

まずは、左を参考に食べる時の姿勢を確認してみましょう。



大人の場合は、多少姿勢が崩れても食べることは出来ます。しかし、子どもの場合は筋肉量も少ないので、姿勢が崩れやすく、テーブルやイスが体に合わないだけで、食べられない、食べるのが遅いということの大きな原因になりますので確認してみましょう。

詳しい解説記事はこちら!

